



港区立高松中学校 学校だより<第3号>

平成30年6月8日 校長 鈿持 利行

創立1949年(昭和24年) <高松中生のあたりまえ>推進校 港区高輪1-16-25

## みんなが生きる みんなで生きる

校長 鈿持 利行

6月2日(土)に行われた運動会では、多くの地域・保護者の方にご声援いただき、本当にありがとうございました。当日は、天候にも恵まれ、生徒たちにとって、思い出深い運動会となりました。

さて、日本人なら誰でも知っている「アンパンマン」。その原作者である やなせたかし さんを知っていますか。やなせさんは、漫画家として著名であります。 「手のひらを太陽に」の作詞者(作曲いずみたく)として作詞家としても知られています。「天使のパンツ」「夕やけに拍手」「勇気の歌」「さびしいカシの木」など、多くの歌で子どもたちの心を勇気づけたり、癒したり励ましたりしてきました。嬉しいとき、楽しいとき、悲しいとき、苦しいとき、彼の詩に励まされた人も多くいることでしょう。「アンパンマン」の主題歌に「何のために生まれて 何をして生きるのか 答えられないなんて そんなのはいやだ」という歌詞がありますが、この言葉の意味はとても深いものであると思います。やなせさんの詩の素晴らしさは、メッセージの明確さと、言葉の優しさ・楽しさ・美しさだと思います。



♪そうだ うれしいんだ 生きるよろこび  
たとえ 胸の傷がいたんでも

なんのために生まれてなにをして生きるのか  
こたえられないなんて そんなのはいやだ!

今を生きることで 熱いところ燃える  
だから君はいくんだほほえんで

そうだ うれしいんだ 生きるよろこび  
たとえ 胸の傷がいたんでも  
ああ アンパンマン やさしい君は  
いけ! みんなの夢まもるため

彼の詩には、一人ひとりの命の輝きを大切にしたいという思いと、互いの良さを認め合い尊重し合っていて欲しいという願いを感じます。「手のひらを太陽に」の冒頭をご存知だと思いますが、「僕らはみんな生きている」から始まります。まず、個の存在を尊重し、みんなが生きているということを歌い、さらに、相互の信頼と協力で、みんなで生きるという両面の意を込められた歌のように感じます。

6月1日～6月30日の期間、「ふれあい(いじめ防止強化)月間」を実施しています。いじめは、どのような理由があっても絶対に許されないことです。全校生徒が仲良くお互いに思いやりをもって行動できるよう取組の充実を図っていきます。



# 平成30年度 第69回運動会

スローガン : 「ハチマキに 汗と涙と思いをのせて」

6月2日(土)、爽やかに晴れ上がった中、本校の二大行事のひとつである運動会が盛大に行われました。この日のために、実行委員、3年生の応援団が中心となり、朝早くから応援や学年練習に取り組んで参りました。そして迎えた運動会当日、競技に応援に、全力で取り組む生徒の姿がそこにはありました。だからこそ、うれし涙、悔し涙を流す場面には、心を打たれた方もいたことでしょう。ご来賓、保護者、地域の方々からの大きな声援も生徒の励みになりました。暑い中でしたが、どうもありがとうございました。

## 《表彰一覧》

◆競技の部〈色別〉 優勝 赤組(1年1組・2年1組・3年1組)

◆競技の部〈学年別〉 優勝 1年2組、2年3組、3年1組

◆応援の部 最優秀賞 赤組(1年1組・2年1組・3年1組)

## ◆ポスター賞

【最優秀賞ポスター】 3年3組 OO OO

(敬称略)



## 保健体育科のことは(〇〇先生より)

1点差。この僅差で結果が分かれる悔しい思いをしたクラスもあり、今年はいつになく接戦となった運動会であった。応援団長が張り上げる声、それに応えようと全力で動く各色の生徒達。足が動かなくても気持ちで飛び続ける姿勢。声と思いを一つにした競争。高松中の運動会は、生徒が輝く素晴らしい行事である。それを改めて確認することができた。みなさん、ご苦労様でした。

【優秀賞ポスター】 1年2組 OO OOO

(敬称略)



## 運動会ハイライトシーン! 生徒一人ひとりが主役となり、輝いていました

